

THE YOMIURI AMERICA

西海岸版

SECTION 2 OF THE YOMIURI SHIMBUN

AUGUST 29, 1992 (週刊)

日米関係を巧みに表現

彫刻家・マッセーさん新作発表

現代社会を皮肉ったオプジェ創作を続ける彫刻家エド・マッセーさん(三七)が、新作「チェックメイト(王手)」を発表し、話題を呼んでいる。

「アメリカと日本の関係表現してみた」という同作品は、大きなチェス盤の上にアメリカ側と日本側の駒を配したものだ。

アメリカ側の駒は囚人、妊娠した少女、居眠りする生徒、暴力を振るう男たち、兵器開発に取り組む研究者、自由の女神の足元にうづくまるホームレス女性な

どで現し、アメリカ社会の病巣を描いている。

一方、日本側の駒は天皇皇后両陛下を取り巻いた黒いスーツ姿の男たちが、おとなしくお辞儀している姿が好対照を見せている。

「アメリカ側で日本に目を向けているのは大統領だ



自作のオブジェ「チェックメイト」とマッセーさん

け。あとは自分たちの問題にとらわれて遠くを見る余裕もない」とマッセーさん。

「この勝負は、始まったばかりでもう勝敗が歴然としているわけです」という。

パブルの崩壊や株の暴落などで、ひところ華やかだった日本経済も陰りが見え

てきたが、「日本はそれほど模範的ではないのでは？」とたずねると、「もちろんマイナス面も表現したつもり。滅私奉公、男性社会、権威主義、均一性など、日本の堅苦しさも嫌な面」と説明した。

完成までに七か月半かかった同作品は「売るとしたら五万円」。すでに企業や個人、政治家などから問い合わせが来ている、という。

ビバリーヒルズにあるマッセーさんの自宅は、どの部屋もオブジェ作品が所せましと飾られている。希望者には電話予約の上、公開している。問い合わせは

☎ 310・273・2352まで。

